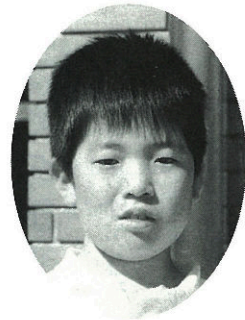




ぼくの夢・わたしの夢

75

ぼくのしょうじがい



日置小学校2年  
大野 ようへい

ぼくは、おとなになつたら、学校の先生になりたいです。

しけんにごうかくして、先生になる学校に行つて、おべんきようをしたいと思ひます。学校の先生になつたら、子どもにべんきようを教えたり、いつしよにあそんだり、お話をしたりして、にぎやかで、元氣のあるクラスにしたいと思ひます。

そんなぼくだけど、ときどき学校がいやだなと思うことがあります。

その一つは、おべんきようの中に、にが手なことがあるときです。一年生の時に、なわとびがきらいでした。でも、先生が、

「はじめは、ゆつくりでいいんだよ。」

と、言つてくれたので、学校でも家でも、ゆつくりとぶれんしゆうをしました。そのおかげで、今は前とびやかかけ足とびができるようになりましなりました。

二つ目は、友だちとけんかをした時です。友だちにからかわれたり、あそびに入れてもらえなかつたりした時には、いやだなあと思ひます。

だから、みんなが楽しくなるような学校にしてみたいなと思つています。

先生つて、たいへんかな!

秋の全国火災予防運動

11月9日(119番の日)から11月15日までの7日間、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。

この時季は、空気の乾燥する日が多く、またこれから先寒さも厳しくなり、暖房器具の使用も増えることから、火災が起りやすくなります。火気を使用する場合は、周囲に燃えやすいものはないかよく確かめ、その場を離れないように心掛けましょう。

『火をつけた あなたの責任 最後まで』

● 火災時の問い合わせは ●

- ☎ 長門 22-1414
- 長門地区消防本部・中央消防署
- ☎ 長門 22-3111
- 西消防署
- ☎ 油谷 32-1230



日置俳壇

〈兼題 栗〉

〈雑詠〉

隣合う本家分家の栗畑 西村亥子代  
蓋とればふるさと匂う栗の飯 松岡ヨシ子  
栗拾う正午の時報遠く聞き 富田佳津美  
街に住む子は山育ち栗送る 白石 敏江  
栗拾い祖母の思い出幼な時 国司ハル子  
いたわりの心嬉しく栗の飯 宮本やすの  
秋風に落栗割れて四方に散り 石川 静子  
虫喰いの栗次々と選られけり 窪田 由来

人順れし鯉まるまると秋の池 国司ハル子  
字を書けば辞書の離せぬ老の秋 国司ハル子  
夕暮れて人無き入江秋の雨 石川 静子  
再会を願う掌やさし秋桜 松岡ヨシ子  
菊の香や手習一つ停年後 大永 邦代  
鶏頭やあでやか庭に位置を占め 石川 静子  
旧姓を呼ばれうれしや大花野 富田佳津美  
秋風や無人駅舎の解かれゆく 白石 敏江